

令和6年度 学校関係者評価表

(自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日)

◆ 実施日:令和7年3月24日(月)

◆ 場所:モア・ヘアメイクカレッジ事務所

◆ 学校関係者評価委員

＜学識経験者＞ 崇城大学芸術学部名誉教授 岩上 孝二

＜美容関係企業及び業界団体＞

株式会社きくや美粧堂 幸若 晋平

TRAP HAIR 寺田 裕一

＜本校卒業生＞ NIWA hair 野田 瞳

＜保 護 者＞ 浅香 由美子

＜学 校 代 表＞ 施設長 松本 栄子

学校長 田中 謙二郎

副校長 松嶋 浩明

事務長 畑中 邦英

専修学校モア・ヘアメイクカレッジ

令和7年3月24日(月)

◆評価項目の達成及び、取組状況

(基準 1) 教育理念・目標

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
2	学校における職業教育の特色は設定されているか	4	4
3	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4
5	各学科の教育目標・育成人材は、学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけがなされているか	4	4

自己評価
・教育理念・目標は教員に意識付けされている。引き続き学校が充実した学びの場として機能していく為、学生主体に立った課題提供を行う。これを随時点検し、徹底させる。 ・学校教育法及び美容師法並びに中小企業等協同組合法に基づき、美容師経営者が協業精神と相互扶助精神に基づき、美容師の資質向上・技術スキルの高い美容師育成を目指すとともに、社会人及び職業人として自立精神を涵養し、また美容業を通じてお客様の「美と健康(ビューティ&ヘルシー)」を提供できる美容師養成を目標としている。 ・時代のニーズで美容師に求められているスキルに SNS の活用があるが、学校の特色でもある産学連携で取り組み、資質向上を目指している。 ・学外には SNS の他、ホームページ、募集パンフレットで開示。また学生に対しては入学前説明会、オリエンテーションで周知している。 ・課題は見つけ次第随時対応する。
関係者評価
・美容室が設立した協同組合立の学校の強みを生かし、次世代の美容業界を担う美容師を育成することを念頭に、産学連携で学校の特色を生かした教育が継続されています。 ・SNS 活用においては成果が出てきており、さらなる成長を期待します。 ・現役で活躍している美容師と教員がタッグを組んで、学校の教育が業界のニーズに応えていくことを望みます。

(基準 2) 学校運営

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4

3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確に具現化したり、有効な機能化を図っているか	4	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
5	教育、財務等の組織整備など意思決定システムは、整備されているか	4	4
6	業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

自己評価	
・運営委員会で意思決定した運営方針や事業計画に基づいて運営、実施しているが、運営方針や事業計画の精度また実行する為の人員の養成は怠ることなく今後も逐行していく。 ・人事、給与に関しては、本校就業規則および給与規定に基づいて明確に定められている。全職員周知され適切に運用されている。改善点がある時は、随時見直しを行う。 ・学校運営を行うための諸規程や諸規則については適切に整備し運営している。 ・教育活動に関する情報は適時 HP などで公開している。 ・組合等情報ネットワークシステム等開発事業として、公務システムを導入した。今後、業務の効率化につなげていくようにする。	
学校関係者評価	
・方針は一貫しており、運営方針や事業計画の策定は良好であると思われます。 ・運営組織や意思決定機能については都度整備し、機能していく様改善されています。 ・公務システムが、職員全体に浸透していくようお願いします。	

(基準 3) 教育活動

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
2	教育理念、育成人材像等や業界のニーズに踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発は実施されているか	4	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携を考慮したカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	4	4
7	授業評価に係る評価体制の確立、及び実施はなされているか	4	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4

9	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
10	資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている	3	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3

自己評価	
・教育理念等に沿って一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力を育てている。あわせて、就職、資格取得、学生動向等は随時外部関係者からの評価を取り入れながら取り組んでいる。選択授業においては学生の経済的負担かけず、なおかつ複数選択が可能な授業カリキュラムにし、好みと適正を見つけやすくしている。また業界のニーズに合わせられる様、現場の美容師達が外部講師で参加してもらい、教員に対しても知識、技能の伝授に大きく貢献してもらった。 ・美容師国家試験においては昼間生全員合格できた。また、特化した教科、選択授業での資格取得を目指している。 ・学業評価は学則、履修要領等に明記し行っている。	
学校関係者評価	
・この分野においては総合的に教育理念に沿って遂行されているように思われます。キャリア教育や実践教においては選択授業制を高レベルで履行されています。 ・評価体制が機能していく様に、更に整備点検を行なってください。 ・現役美容師による流行に沿った技術教育が行われていることを評価します。 ・各教員がスキルアップに繋がる研修に参加し、能力開発してける様お願いします。	

（基準 4） 就学成果

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
3	退学率の低減が図られているか	3	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4

自己評価
・組合立専修学校のネットワークを利用して学生が希望する企業への就職率 100%に近くできている。美容室のみならず、他美容関連企業と幅広く就職につながった。 ・美容師国家試験においては昼間生合格率 100%達成することが出来た。 ・退学率については昨年に続き、一年時の退学が増え課題である。 ・キャリア形成の把握として、卒業生は学校イベントや、外部講師として授業参加。業界のニーズを踏まえ、学生が役に立つと感じる新しい技術が伝えられた。在学時から情報を共有しあえる関係を維持できるよう努めていく必要がある。それにより、就職活動がスムーズに行くことを期待している。 ・学則等の見直し、整備によりさらに諸問題の対応をしている。
学校関係者評価
・高水準での就職率や美容師国家試験合格率などは、高いレベルで継続しており、教員の授業成果として高く評価します。 ・退学者数が多かったので、次年度は退学者を減らす有効な対応をお願いします。 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善については卒業生の外部講師授業等を通じて強化されています。

（基準 5） 学生支援

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
7	保護者と適切に連携しているか	4	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	4

自己評価
・美容業界の太いパイプで多岐にわたる就職内定が得られた。 ・学生支援のための奨学金制度、一人暮らしのためのセキュリティ性の高い物件紹介等様々な支援体制を敷いている。健康管理に関しては、入学前から持病を持つ生徒の教職員への周知、対応が出来るようにしている。問題が発生したときは随時見直し、問題解決に取り組む。また、年一回の健康診断を実施している。 ・学生、保護者との三者面談、また随時担任とのコミュニケーションの場を設け、問題に対して早めの解決を行う様努めている。 ・社会人のニーズに向けた教育環境については JMA メイク検定、MOB 協同組合認定の着付けなどを導入。 ・卒業生の支援は熊本美容師会と連携して活動支援している。 ・高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育においては、ガイダンス時に卒業生と一緒に、卒業後の業界の話等を行っている。
学校評価委員会
・学校支援、教育は整備され、運営されています。継続、維持してください。 ・家庭環境において、昨今では、様々な環境下の学生がいる中、個々の対応が必要かと思われます。よりよい環境づくりをお願いします。

（基準 6） 教育環境

No.	評価項目 【適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1】	自己評価	関係者評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4	4

自己評価
・現状の状態でも対応できているが、継続して随時、施設設備の点検整備を行っていくようにする。 ・消防法で定められている項目はクリアしている。 ・AED を設置しており安全面でも整備している。 ・インターンシップについては 1 年時全員各連携企業の協力のもと実施。随時教育体制の点検、整備に努めている。
学校関係者評価
・インターンシップにおいては引き続きお願いします。 ・空調設備、照明等随時点検等、整備がされています。 ・防災については避難訓練の実施、ハザードマップ等の確認という事前にできる安全対策を今一度確認お願いします。

(基準 7) 学生の受け入れ募集

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	4

自己評価
・生徒募集には厳しい現状であるが、組合立(業界に精通している)強みを生かした広報活動をさらに充実させる。少子化に伴っての生徒獲得は急務である。 ・学校説明会、オープンキャンパスの実施、ヘアショー、校内コンテストの開催などを通して、学生確保のため最善の努力はしている。 ・SNSの発信で生徒募集活動においては、次世代リーダー育成プログラムにおいて学生を巻き込んで勉強会を行い、学校での様子を随時投稿することで学校の公式のものだけでなく、学生からの投稿も増えて拡散する機会が増えた。 ・学納金については、社会状況を考慮し妥当なものになるよう考慮している。
学校関係者評価
・SNSは募集につながる情報発信元になるので、点検整備を行いながら更なるアップデートをお願いします。

(基準 8) 財務

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
2	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

自己評価
・教育活動を安定かつ継続的に進めるための財務基盤、財務管理は組合立の為安定している。 ・学校運営は組合から教職員に委託された事業であるので、事業計画・収支計画など運営に関わる体制協力を図っている。 ・協同組合立法に則り中央会への財務報告は行っている。予算編成、計画立案に関する財務情報はホームページにて公開している。
学校関係者評価
・常時安定した学校運営が行われることを期待します。 ・他項目については明朗に実施されています。

(基準 9) 法令等の遵守

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
3	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか	4	4
4	自己評価結果を公開しているか	4	4

自己評価
・広義でのコンプライアンスだけでなく、日常発生する様々なトラブル解決を図るための問題意識の向上を図る。 ・ホームページで広く一般に自己点検評価報告は公開している。 ・専修学校設置基準や関係法令や学内規程を遵守した適正な学校運営は行っている。法令順守に関する啓蒙は実施されている。
学校関係者評価
・WEB環境においてはセキュリティに万全を期してください。 ・常時自己評価においても点検、必要に応じて改善整備していくことを希望いたします。

(基準 10) 社会貢献・地域貢献

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献が行われているか	4	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	4

自己評価
・基本毎日校外または周辺の清掃活動を実施している。 ・学生のボランティア活動において、諸団体主催のイベントに参加。ハロウィンイベントの協力、小学校区でのイベント参加等。不定期ではあるが今後も積極的に参加する予定。 ・ネイル検定(社会人を含む)やヘアケアマイスター検定(卒業生を含む美容師資格者)の場所として本校を提供している。
学校関係者評価
・ボランティア活動や企業との協働事業に取り組んでいる点を評価します。次年度も積極的に実施をお願いします。 ・ネイル検定の認定校として引き続きネイリストを、またサービス業として必要なスキルをBC検定でビューティコーディネーターの輩出に寄与してください。

